

2023年3月期
第1四半期 決算説明資料

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
2022年7月27日



(東証グロース：7774)

目次

1.	2023年3月期 第1四半期の業績	----	1
2.	第1四半期のトピックス	----	10
3.	2023年3月期 通期業績予想	----	17
4.	参考資料	----	20

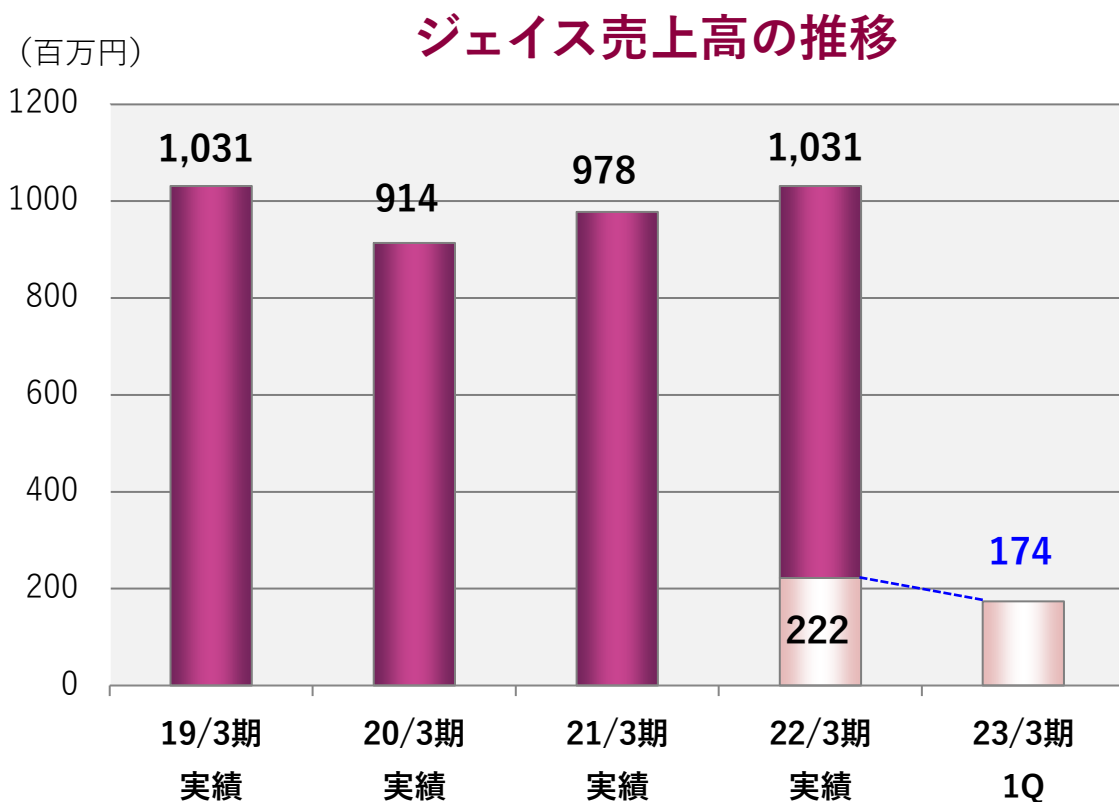
2023年3月期 第1四半期の業績

- ✓ 当第1四半期累計期間の売上高は、自家培養軟骨ジャックの売上が拡大した一方、自家培養表皮ジェイスの売上が減少した影響等により、422百万円（前年同期比11.6%減）となった。
- ✓ 営業損益は△267百万円（対前年同期△137百万円）となった。

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2022年3月期	2023年3月期		
	第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績	対前期	
			増減額	増減率
売上高合計	478	422	△55	△11.6%
再生医療製品事業	325	307	△17	△5.5%
ジェイス	222	174	△47	△21.2%
ジャック	81	102	21	26.3%
ネピック、オキュラル、その他	22	30	7	35.3%
再生医療受託事業	101	68	△33	△33.0%
研究開発支援事業	50	46	△4	△8.2%
売上総利益	303	237	△66	△21.9%
販売費及び一般管理費	433	504	70	16.3%
営業損益	△129	△267	△137	-
経常損益	△128	△267	△138	-
四半期純損益	△129	△268	△138	-

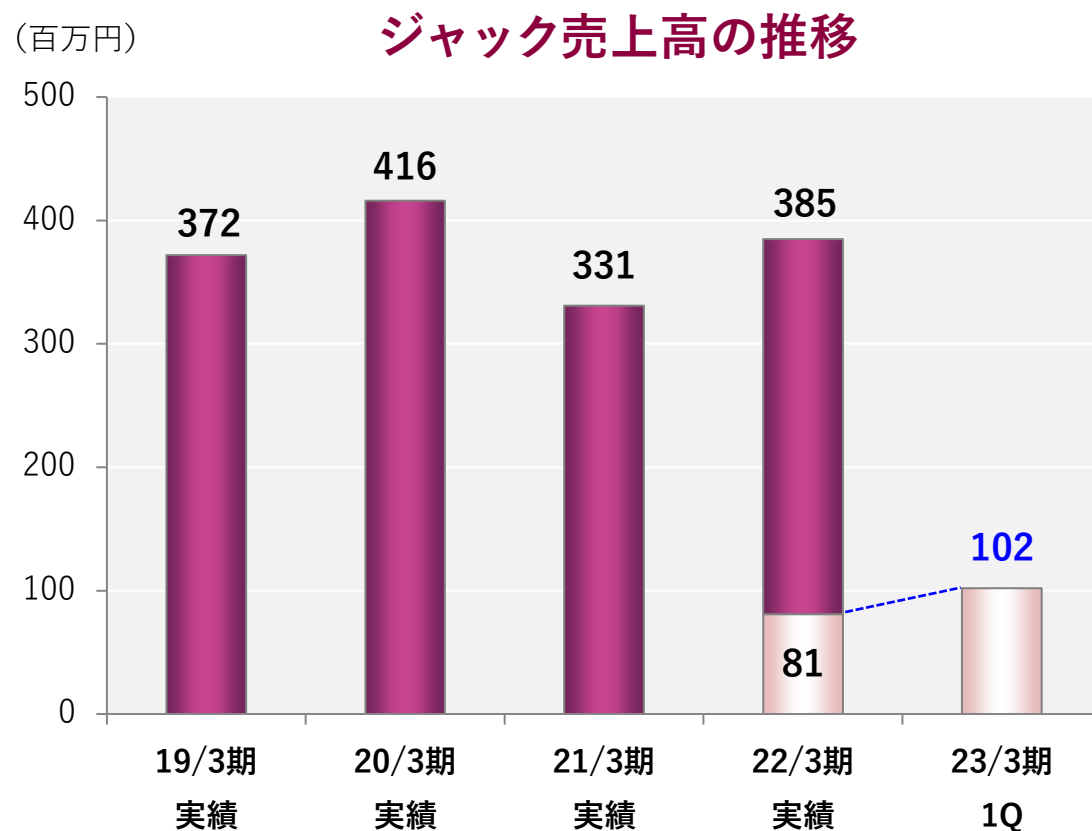
再生医療製品事業：自家培養表皮ジェイス

- ✓ 第1四半期累計期間におけるジェイスの売上は、174,948千円（前年同期比21.2%減）。
- ✓ 重症熱傷では患者死亡による移植中止が多かったこと、先天性巨大色素性母斑と表皮水疱症では待機患者や重症患者の治療が一巡したこと等の影響により、前年同期に対して売上が減少した。
- ✓ 重症熱傷ではこれまでジェイスを使用していない施設からの受注が増えている。コロナ禍を経て重症熱傷の地域連携や搬送に変化が起きている可能性があり、これを新たな受注獲得の機会と捉え、重症熱傷におけるジェイス売上拡大に繋げる。表皮水疱症では潜在患者への周知と治療意欲向上に向けて患者会との連携を一層強化し、売上拡大を目指す。



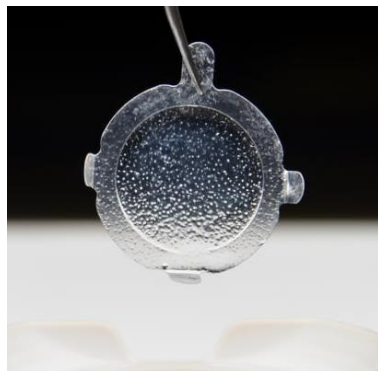
再生医療製品事業：自家培養軟骨ジャック

- ✓ 第1四半期累計期間におけるジャックの売上は、102,579千円（前年同期比26.3%増）。
- ✓ コロナによる医療機関への訪問規制や学会開催が緩和され、営業活動を再開。コロナ影響で使用を控えていた施設からの受注が回復し、また大口施設の受注もコロナ以前のレベルに戻ったことで、前年同期に対して売上が増加した。
- ✓ 2022年6月には、承認後の使用成績調査について再審査が終了し、承認時の有効性及び安全性が改めて確認された。

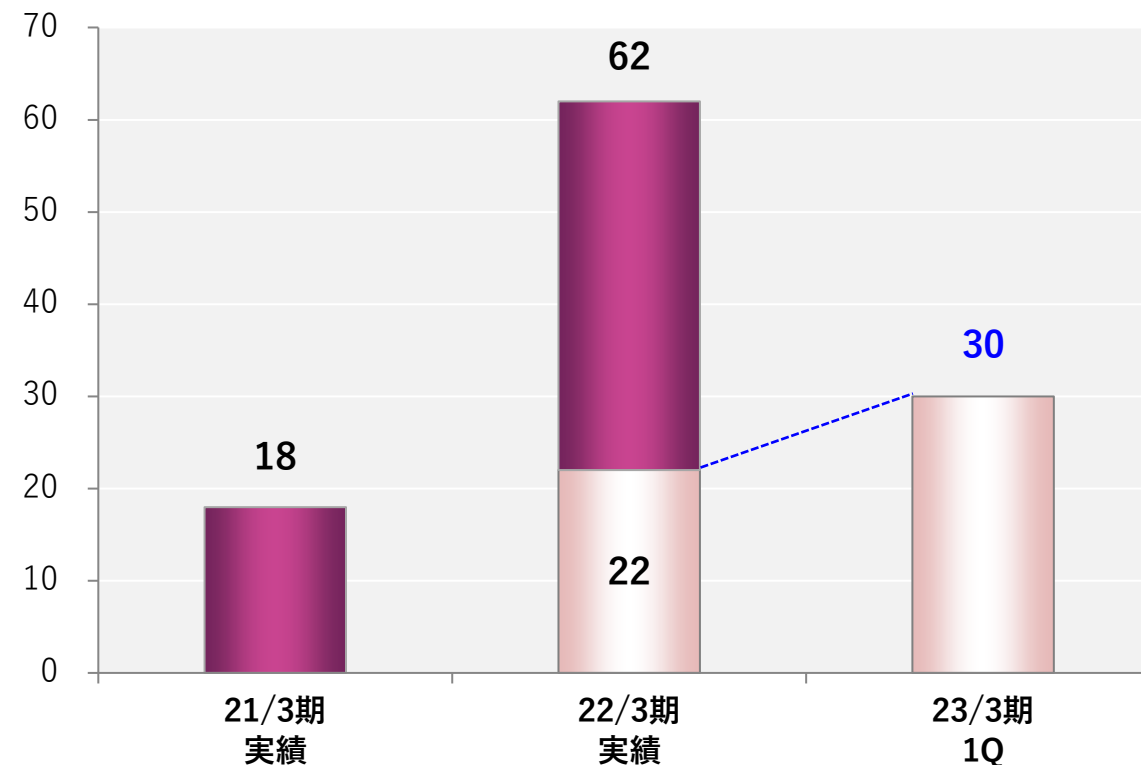


再生医療製品事業：ネピック、オキュラル、その他

- ✓ 第1四半期累計期間における眼科領域・その他の売上は、30,300千円（前年同期比35.3%増）。
- ✓ ネピックに続きオキュラルの販売が開始され、使用準備の整った医療機関から受注を獲得した。また販売を担う株式会社ニデックと協働して眼科の主要学会にてランチョンセミナーを開催するなど、製品の認知度向上に努めた。
- ✓ 当社は、根治療法が存在しなかった角膜上皮疾患に対する治療の選択肢を広げ、眼科領域における再生医療のさらなる発展に貢献する。



(百万円) ネピック、オキュラル、その他の売上高の推移

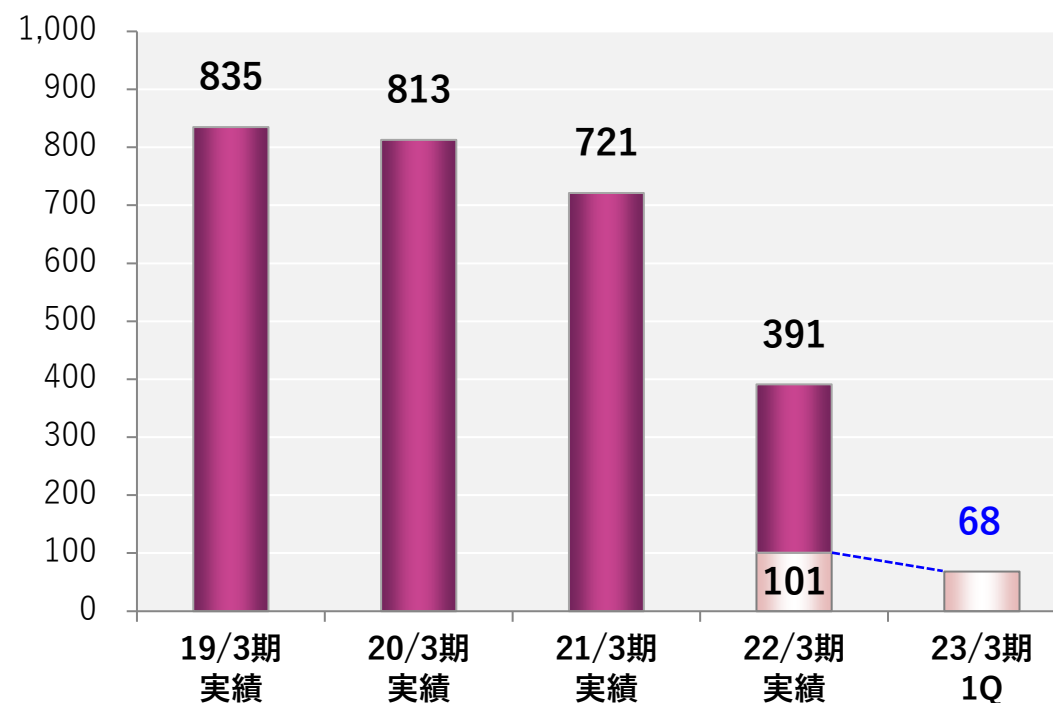


再生医療受託事業

- ✓ 第1四半期累計期間における再生医療受託事業の売上は、68,300千円（前年同期比33.0%減）。
- ✓ 親会社である帝人株式会社からの受託が増加したものの、前年度に契約一時金を計上していたことから、全体では前年同期に対して売上が減少した。
- ✓ 当社は、今後も帝人及び第三者からの新規受託の拡充を図ることで、再生医療受託事業の再拡大を目指す。



(百万円) 再生医療受託事業の売上高の推移



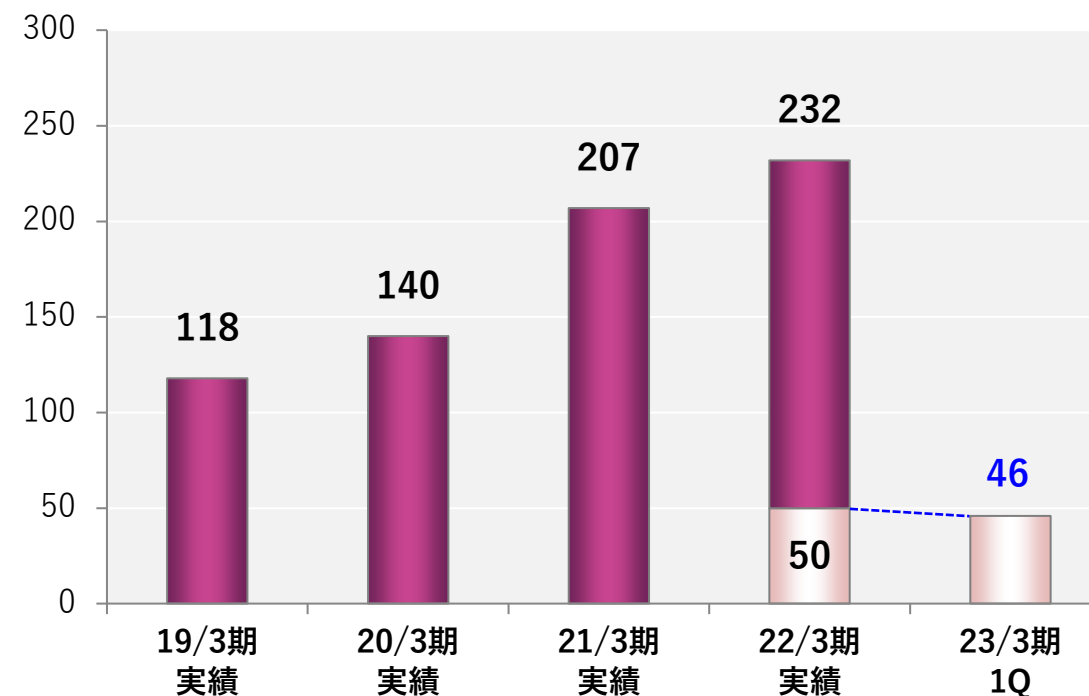
研究開発支援事業：ラボサイト

- ✓ 第1四半期累計期間における研究開発支援事業の売上は、46,592千円（前年同期比8.2%減）。
- ✓ ラボサイトシリーズでは前年に引き続きオンライン面談を活用し顧客に積極的にアプローチすることで、受注が増加。経済協力開発機構（OECD）のテストガイドラインには、エピ・モデル24を用いた皮膚刺激性試験法及び皮膚腐食性試験法、ならびに角膜モデル24を用いた眼刺激性試験法が標準法の一つとして収載されており、国内外からの引き合いの増加に寄与している。
- ✓ 研究開発支援事業全体では、その他の製品の販売終了の影響等により、前年同期に対して売上が減少した。

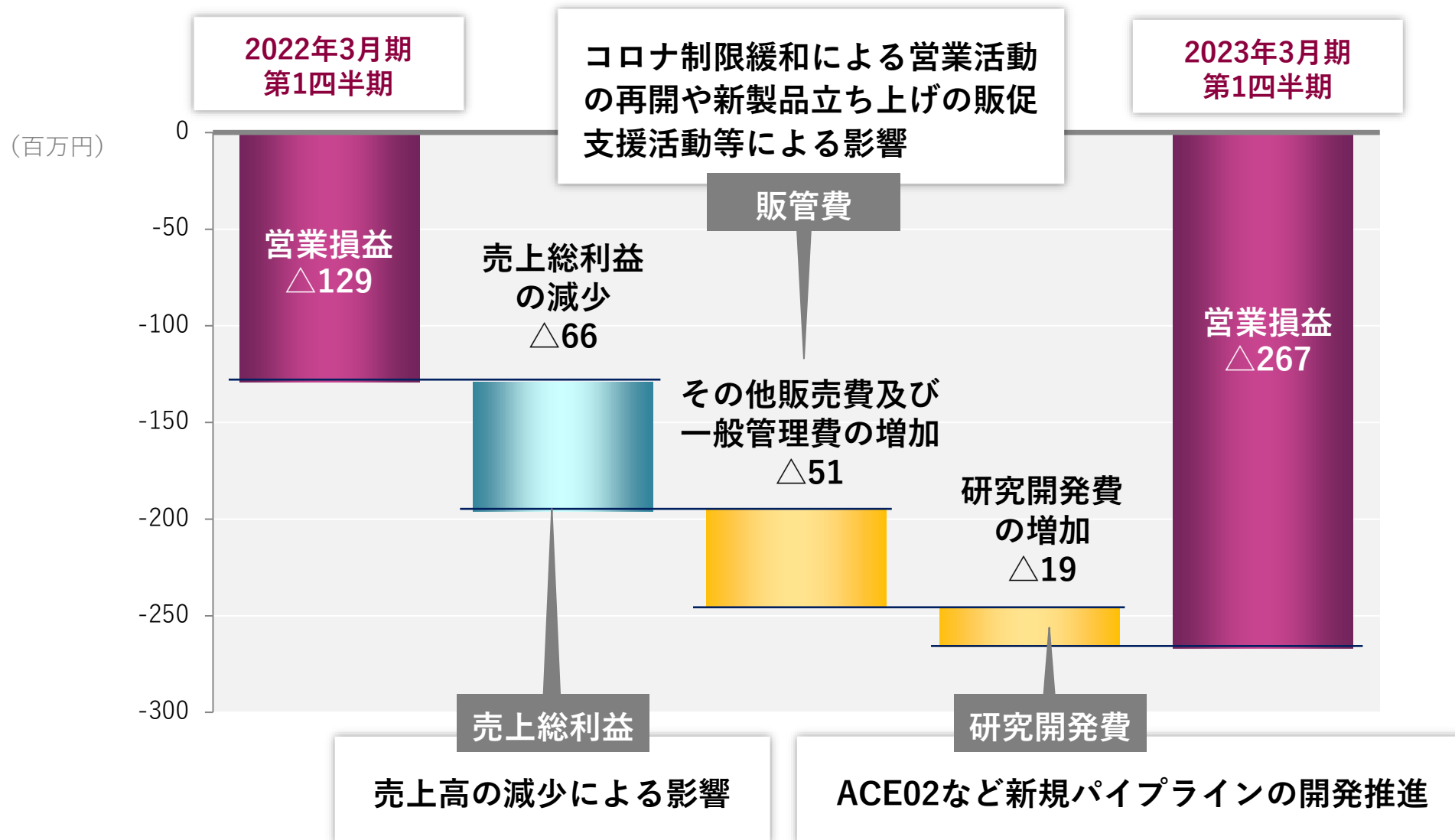


(百万円)

研究開発支援事業の売上高の推移



営業損益増減の内訳



貸借対照表の概要

(単位：百万円) (百万円未満切捨て表示)	2022年3月期 2022年3月31日	2023年3月期 2022年6月30日	増減額	
流動資産	5,945	5,712	△233	現金及び預金、 売掛金の減少等
固定・繰延資産	1,652	1,633	△18	
資産合計	7,598	7,346	△251	
流動負債	896	913	16	
固定負債	35	34	-	
負債合計	931	948	16	
資本金	4,958	4,958	-	
資本準備金	2,788	2,788	-	
利益剰余金	△1,080	△1,348	△268	当期純損失の計上
純資産	6,666	6,398	△268	
負債・純資産合計	7,598	7,346	△251	

目次

1.	2023年3月期 第1四半期の業績	----	1
2.	第1四半期のトピックス	----	10
3.	2023年3月期 通期業績予想	----	17
4.	参考資料	----	20

2023年3月期 第1四半期 トピックス一覧

2022年	内容	PICK UP
4月11日	「再生医療の日めくりカレンダー」公表	1
4月27日	適時開示 安定期の白斑治療に用いる自家培養表皮「ACE02」：製造販売承認申請	2
5月27日	蒲郡商工会議所より「事業所表彰」のお知らせ 自家培養表皮「ジェイス」を実用化した功績で第10回技術経営イノベーション大賞での経済産業大臣賞受賞を受けて	
5月30日	適時開示 2022年度「新あいち創造研究開発補助金」採択のお知らせ	3
6月2日	第10回技術経営・イノベーションシンポジウムにて講演	4
6月27日	適時開示 「自家培養軟骨ジャック」再審査結果に関するお知らせ	5

PICK UP

1 「再生医療の日めくりカレンダー」公表

- ✓ 蒲郡市を題材にした日めくりカレンダーを作成し、市内の小学校（全学級）に配布した。

蒲郡市との連携

サステナビリティの取り組み

蒲郡再生医療産業化推進委員会では、再生医療のまちづくりを推進。

当社社員と蒲郡市の若手職員で小学生の皆さんに「再生医療」を学び親しんでいただけるような再生医療の日めくりカレンダーを作成。

蒲郡市のホームページではWEB版も公開。

蒲郡市ホームページ

<https://www.city.gamagori.lg.jp/unit/sangyo/saisei-calendar.html>



出典) 2022年4月11日 コラム・トピックス 「再生医療の日めくりカレンダー」公表のお知らせ (当社)

<https://www.jp-te.co.jp/columns/details/347>

PICK UP

2

安定期の白斑治療に用いる自家培養表皮「ACE02」：製造販売承認申請

- ✓ 2022年4月27日に、安定期の白斑（尋常性白斑又はまだら症）の治療を目的とした再生医療等製品として、メラノサイト（色素細胞）を保持した自家培養表皮（開発名：ACE02）の製造販売承認申請を厚生労働省に行った。
- ✓ 2024年3月期の上市を目指している。

「ACE02」

患者さん本人の皮膚組織を採取し、分離した細胞を培養し、メラノサイトを保持したままシート状に形成して患者さん自身に使用する自家培養表皮

白斑とは

皮膚に存在するメラノサイトと呼ばれる色素細胞が減少し、皮膚の色が白く抜ける疾患である。後天的にメラノサイトが破壊されて発症する「尋常性白斑」や、先天的な遺伝子異常により発症する「まだら症」などがある。



出典) 2022年4月27日「安定期の白斑治療に用いる自家培養表皮「ACE02」：製造販売承認申請のお知らせ」（当社）

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7774/tdnet/2109902/00.pdf>

PICK UP

3

2022年度「新あいち創造研究開発補助金」採択

- ✓ 愛知県が公募した2022年度「新あいち創造研究開発補助金」事業において、当社の申請事業が採択された。
- ✓ 本事業を通じて再生医療等製品の実用化の基盤整備を目指す。

補助金
獲得

採択された当社事業及び内容

「低侵襲治療を実現する新規再生医療等製品の開発ならびに上市品の改良に係る研究開発」

膝領域の新規製品開発として、細胞の品質特性評価や膝治療のための材料開発、ならびに上市品の改良を目指し、再生医療産業の拡大に繋げるものです。

採択案件（愛知県のホームページ）：

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/420681.pdf>

出典) 2022年5月30日「2022年度「新あいち創造研究開発補助金」採択のお知らせ」（当社）

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7774/tdnet/2133817/00.pdf>

PICK UP

4

第10回技術経営・イノベーションシンポジウムにて講演

- ✓ 当社は、第10回技術経営・イノベーション大賞において、「日本初の再生医療等製品 自家培養表皮「ジェイス」の普及」に関する功績で「経済産業大臣賞」を受賞した。
- ✓ 治療困難であった重症熱傷治療におけるゴールドスタンダードとして多くの患者の救命に寄与している点、医療機関と連携して安定供給できる体制を構築した点や、累計 1,000 件以上の移植実績がある点などが高く評価された。
- ✓ 2022年6月2日に開催されたシンポジウムで、当社代表取締役社長執行役員 畠 賢一郎が講演した。

「第10回 技術経営・イノベーション シンポジウム」

Day1 2022年6月2日(木) 16:40~17:40

演題 日本初の再生医療等製品 自家培養表皮「ジェイス」の普及

演者 J-TEC代表取締役社長執行役員 畠 賢一郎



出典) 2022年6月6日 コラム・トピックス「第10回技術経営・イノベーションシンポジウムにて講演を行いました」(当社)

<https://www.jp-tec.co.jp/columns/details/361>

PICK UP

5

「自家培養軟骨ジャック」再審査結果に関するお知らせ

- ✓ 当社はジャックの有効性及び安全性を確認するため、7年間にわたりジャックの全症例を対象とする使用成績調査を実施。
- ✓ 上市後も多くの先生方に使用いただき、再審査の結果、厚生労働省によりジャックの承認時の有効性及び安全性が改めて確認された。



効能、効果又は性能

膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎（変形性膝関節症を除く）の臨床症状の緩和。

ただし、他に治療法がなく、かつ軟骨欠損面積が4 cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る。



出典) 2022年6月27日 「「自家培養軟骨ジャック」再審査結果に関するお知らせ」 (当社)
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7774/tdnet/2148171/00.pdf>

目次

1.	2023年3月期 第1四半期の業績	----	1
2.	第1四半期のトピックス	----	10
3.	2023年3月期 通期業績予想	----	17
4.	参考資料	----	20

2023年3月期の業績予想

- ✓ 2022年4月26日に公表した業績予想に変更はありません。
- ✓ 2023年3月期の売上高は、再生医療製品事業、再生医療受託事業、研究開発支援事業の売上拡大により2,540百万円（前期比20.8%増）、営業損益は△389百万円（対前期+108百万円）を見込む。

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2022年3月期	2023年3月期		
	通期実績	業績予想 2022年4月26日開示	対前期	
			増減額	増減率
売上高合計	2,103	2,540	437	20.8%
再生医療製品事業	1,479	1,806	327	22.1%
ジェイス	1,031	1,037	6	0.7%
ジャック	385	485	99	25.7%
ネピック、オキュラル、その他	62	283	221	354.6%
再生医療受託事業	391	495	104	26.7%
研究開発支援事業	232	238	5	2.3%
営業損益	△498	△389	108	—
経常損益	△494	△384	109	—
当期純損益	△497	△388	109	—

開発パイプラインの上市目標

✓ 開発パイプラインの進展： →



出典) 2022年5月10日「事業計画及び成長可能性に関する事項」(当社) <https://ssl4.eir-parts.net/doc/7774/tdnet/2115478/00.pdf>

目次

1.	2023年3月期 第1四半期の業績	----	1
2.	第1四半期のトピックス	----	10
3.	2023年3月期 通期業績予想	----	17
4.	参考資料	----	20

自家培養表皮ジェイス



適応対象 ① 重症熱傷

受傷面積として深達性Ⅱ度及びⅢ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象。

② 先天性巨大色素性母斑

母斑面積が体表面積の5%以上の治療など、既存の標準的な治療では母斑の切除に対応しきれない場合に適用。

③ 栄養障害型表皮水疱症及び接合部型表皮水疱症

4週間程度持続しているびらん・潰瘍及び潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・潰瘍に対して適用。

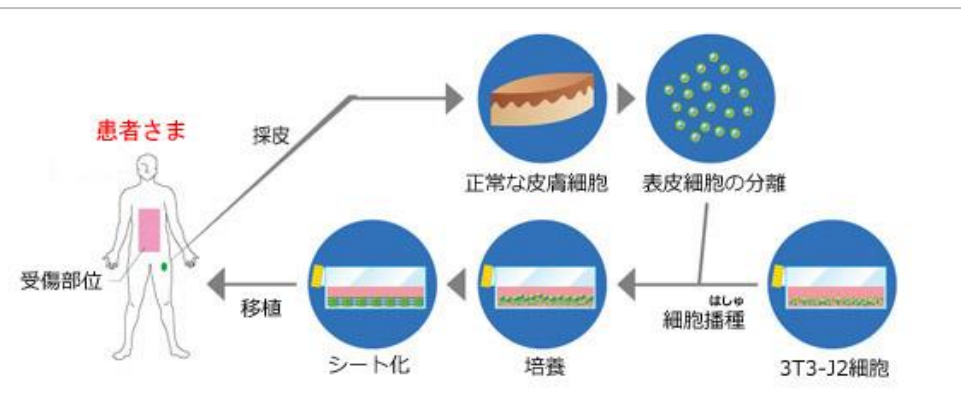
保険償還 ① 採取・培養キット：4,460千円

価格 ② 調製・移植キット：154千円 / 枚

算定限度：40枚（熱傷）ただし、医学的に必要がある場合は、その理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載した上で50枚を限度として算定できる。30枚（母斑）、50枚（表皮水疱症）

技術 導入元

米ハーバード大学 Howard Green 教授



自家培養軟骨ジャック



適応対象

膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎
(変形性膝関節症を除く)

の臨床症状の緩和。ただし、他に治療法がなく、
かつ軟骨欠損面積が4cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る。

保険償還
価格

- ① 採取・培養キット： 895千円
- ② 調製・移植キット： 1,270千円 (使用した個数に係らない)

技術
導入元

広島大学 越智 光夫 教授



自家培養角膜上皮ネピック



販売：株式会社ニデック



適応対象 角膜上皮幹細胞疲弊症

ただし、以下の患者を除く。

- ・スティーヴンス・ジョンソン症候群の患者
- ・眼類天疱瘡の患者
- ・移植片対宿主病の患者
- ・無虹彩症等の先天的に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患の患者
- ・再発翼状片の患者
- ・特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症患者

保険償還 価格

- ① 採取・培養キット： 4,280千円
- ② 調製・移植キット： 5,470千円

技術 導入元

イタリア G Pellegrini教授・M De Luca教授



自家培養口腔粘膜上皮オキュラル



販売：株式会社ニデック

適応対象 角膜上皮幹細胞疲弊症

保険償還
価格
① 採取・培養キット： 4,280千円
② 調製・移植キット： 5,470千円

技術
導入元 大阪大学 西田 幸二 教授



本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含みますがそれに限りません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp